

ボクの尼崎マップ

～昭和初期の尼崎～



カズオ (白髪一雄)

時代は1938(昭和13)年。商店街にある呉服店の長男で、旧制尼崎市立中学校に通う14歳。クラブ活動：柔道部から絵画部に転部。(画家になることを密かに夢見ている。)趣味：読書(特に中国の歴史物語) 観劇(実は役者にも憧れている)

大日本職業別明細図 尼崎市街図(部分) 1936(昭和11)年

アクション・ペインター カズオくん 4コマ漫画



写真提供(★印のあるもの)：尼崎市立歴史博物館 あまがさきアーカイブズ
その他の写真：公益財団法人尼崎市文化振興財団
マップ提供：一般社団法人あまがさき観光局

このマップは、関西大学文学部平井研究室と連携し「2019年度 関西大学地域連携活動に対する補助事業」の助成を受けて制作したものを再編集し、第2版として発行するものです。

編集・発行：公益財団法人尼崎市文化振興財団

初版：2020年3月14日
第2版：2024年7月27日
©公益財団法人尼崎市文化振興財団 2024年
※無断転載を禁じます。



お問合わせ

白髪一雄記念室
公益財団法人
尼崎市文化振興財団
TEL: 06-6487-0806



<http://www.archaic.or.jp/shiraga/>

1 木市呉服店跡

通称「きいちさん」。白髪の祖父・久吉が1890(明治23)年に尼崎市西本町にあった本町通商店街に開業。第二次世界大戦中の商店街の取り壊しに伴い一時閉店し、2代目の父・信次郎が、終戦後の1948(昭和23)年頃に中央商店街で再開。白髪はこの2階を自宅兼アトリエとして絵を描いた。1982(昭和57)年に閉店。白髪は宮内町へ転居して創作活動を続けた。



所在地 尼崎市神田中通 3-49(現：ログキャビンビル)
木市呉服店(尼崎市中央商店街)1954(昭和29)年頃 出典：『尼崎市商工名鑑』★

2 尼崎えびす神社

通称「尼のえべっさん」、商売繁盛の神様。醍醐天皇(だいてんのう)時代以前の創建と伝わる。古代からえびす様は海の神様、漁業航海を守る神様として漁業人から崇拝されてきた。朱色の大鳥居が阪神電車の高架沿いにそびえ立つ。大鳥居の刻銘版には、白髪の父・信次郎の名を見ることが出来る。



所在地 尼崎市神田中通 3-82
戎神社 1960(昭和35)年頃 ★



昭和初期・少年時代の「カズオ」がタイムスリップして令和に登場!

ボクが育った昭和初期の尼崎の様子を想像しながら歩いてみよう。

白髪一雄 ゆかりの地をめぐる おすすめコース
約4.2km(約1時間30分)
※施設等見学時間は除く

- コンビニ
- 病院
- 博物館 美術館
- 学校
- 郵便局
- 寺院
- 神社
- 国道
- 駐車場
- 宿泊

※マップ上のマーク1~8は今の所在地です。住所は現在の表記方法に従っています。
※ここに紹介する神社仏閣・跡地等は通常、建物内部は一般公開されていませんので、ご注意ください。(■は期間限定スタンプラリーの対象スポットです。詳細は裏面をご参照ください。)

3 貴布禰神社



所在地 尼崎市西本町 6-246
貴布禰神社 1938(昭和13)年頃 ★

通称「尼のきふねさん」。京都の貴船神社を総本宮とする。主神は海人(あま)の守護神で、古くから雨乞いの神としても信仰された。創建年は不詳。かつて尼崎城主の崇敬が篤く、代々御祈願所を務めた。白髪の激しい描き方には、幼少期に見た貴布禰神社の夏祭り(通称「けんか祭り」)の記憶が関係している。

4 本興寺



所在地 尼崎市開明町 3-13
本興寺 昭和戦前か ★

1420(応永27)年に当時の尼崎城主・細川満元の帰依(きえ)を得て開創。宝物も多く、国指定重要文化財・日蓮大聖人の御所持の太刀「数珠丸」などがある。白髪が寄進した赤一色の印象的な大作「皆広供養」も宝物殿内にあり、毎年11月3日の「虫干会」で見ることが出来る。白髪家の菩提寺でもあり、境内には「白髪」と彫られた手水鉢(ちよずばち)や蠟燭台などがある。

5 市立第三尋常小学校跡(現：開明庁舎)



所在地 尼崎市開明町 2-1-1
市立第三尋常小学校 1913(大正2)～1937(昭和12)年頃 ★

白髪が通っていた小学校。当時は木造校舎だった。現在登録文化財となっている校舎は1937(昭和12)年に開明尋常小学校校舎として建てられ、2004(平成16)年に廃校となったもの。白髪は1935(昭和10)年に新たに開校した竹谷小学校に転校した。

6 レンガ倉庫



所在地 尼崎市北城内 115
庄下橋(左後方に倉庫)1937(昭和12)年か ★

1904(明治37)年竣工。阪神電気鉄道が開業した当時の発電所。開業当初は本社を併設していたため、阪神電鉄の創業の地といえる。現在は資料倉庫として利用。白髪の少年時代にも、正面にかかる庄下橋のふもとでひときわ目立つ建物だった。

7 旧制尼崎市立中学校(現：県立尼崎高等学校)



所在地 尼崎市北大物町 18-1
縣立尼ヶ崎中学校 1933(昭和8)～37(昭和12)年 ★

通称「県尼」(けんあま)。大正時代に、尼崎に中学校の設置を求めた地元の住民や企業が寄付金を集めて設立。その後、尼崎市から兵庫県に移管され、県立尼崎中学校となった。2023(令和5)年に創立100周年を迎えた伝統校。白髪は2年時にできた絵画部に入り、画家を志すきっかけになった。
※7はルートマップに含まれません。地図左側の広域マップに記載しています。

8 白髪一雄記念室



所在地 尼崎市昭和通 2-7-16
尼崎市総合文化センター4階 休館日：火曜日、年末年始、展示替え期間

尼崎市総合文化センター内に2013(平成25)年に開設。白髪の情報発信の拠点。小さいスペースながら、国内外から来客がある。白髪一雄のことをもっと知りたい方はこちらへ。文化センターに隣接するあましんアルカイックホールの第一級帳(どんちょう)は白髪が描いた原画《祝いの舞》をもとに制作されたもの。